

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	播州倉庫 本社増築工事	階数	地上2階
建設地	兵庫県姫路市別所町	構造	S造
用途地域	準住居地域、法第22条区域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年10月 予定	評価の実施日	2022年1月31日
敷地面積	14,129 m ²	作成者	
建築面積	1,326 m ²	確認日	2022年1月31日
延床面積	2,605 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 3.5</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 5.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.6</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 2.7</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 1.9</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.5</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.9</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>既設倉庫棟と同様に、建物利用者が室内外共に機能的で長期間にわたって安心・安全に利用できるように計画している。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>建物全体が倉庫用途(定温倉庫)であり、人が滞在する居住エリアはないため対象外としている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>建物を長期的に利用してもらえるよう、維持管理や改修のしやすい計画としている。</p> <p>※1.機能性: 建物全体が倉庫用途(定温倉庫)であり、人が滞在する居住エリアはないため対象外である。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地北側への圧迫感を考慮し植栽を設けるなど、敷地周囲への必要最低限の配慮を行っている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>建物全体が倉庫用途のため、一次エネルギー消費性能(照明)のみ算定。</p> <p>※既設倉庫棟は、みなし値(1.2)にて算入。</p> <p>※外壁や窓等の外皮性能は対象外。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>環境汚染の原因となるフロン・ハロンなどを用いた消火設備、また発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>従業員駐車場は車両交通量が少ない敷地西側に設け、適切な台数の駐車場スペースを設置している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される